

島下郡馬場村庄屋文書目録

高橋 伸拓・大欠 哲

解題

本目録は、摂津国島下郡馬場村の庄屋を勤めた家に伝来した古文書を収録するものである。本文書群は、平成11年(1999年)度に旧茨木市史編さん室が古書店から購入し、現在は茨木市立文化財資料館で収蔵している。旧茨木市史編さん室が目録を作成し、高橋・大欠が見直しを行った。

1. 馬場村の概要

馬場村は、摂津国島下郡に属し、地理的にみると、東は鮎川村、北は戸伏村に接し、集落の東を安威川が流れ、平坦な土地である。領主の変遷をみると、はじめ高槻藩永井氏領・幕府領、宝暦12年(1762年)からは高槻藩永井氏領・下総古河藩土井氏領であった(以下、概要の記述は、特に註記しない限り、『角川日本地名大辞典27大阪府』(角川書店、1983年)、『日本歴史地名大系第二八巻 大阪府の地名』(平凡社、1986年)による)。

村高は、「元禄国絵図」では556石余、「天保郷帳」は556石2斗4升8合である(「摂津国絵図(元禄)」「摂津国郷帳(天保)」国立公文書館蔵)。「旧高旧領(明治元年(1868年))」は556石3斗1升5合で、溝咋神社領6升7合が確認される(『旧高旧領取調帳 近畿編』近藤出版社、1975年)。「天保郷帳」は溝咋神社領を引いた村高となっている。

馬場村の鎮守は式内社の溝咋神社で、神社は溝咋上宮神社があった。寺院は浄土真宗本派浄福寺がある。明治4年(1871年)大阪府に所属し、同9年の人口は226であった。同12年の村誌によると、戸数は54(内、社2戸、寺1戸)、人数は226(男105、女121)で、物産は米・麦・菜種・綿・罌粟製阿片であった(明治12年「村誌 馬場村」『新修茨木市史 史料集1 村誌 - 茨木市域 -』)。同22年溝咋村の大字となる。

2. 本文書群の概要

本文書群は、年代幅が享保5年(1720年)から明治38年(1905年)までである。史料の内容から、馬場村庄屋戸(土)肥家伝来のものと考え

られる。内容は、家および村関係で構成されている。溝咋神社の関係として、上殿村(下穂積村)出身の両替商として知られる殿村平右衛門が、鳥居の額の修復銀を出しており、溝杭郷4か村氏子惣代が受領書を殿村宛てに出している(文書番号51・162-1)。その他、安威川関係(文書番号44)や浄福寺関係(文書番号18)、菜種関係(天保8年(1837年)の菜種買い入れの入札(文書番号104))などが注目される。

参考文献(五十音順)

- 茨木市編さん委員会 2009『新修茨木市史 第五巻史料編近世』
- 茨木市編さん委員会 2016『新修茨木市史 第二巻通史II』
- 茨木市史編さん室 2000『新修茨木市史 史料集1 村誌 - 茨木市域 -』
- 茨木市史編さん室 2010『新修茨木市史 史料集14 村明細帳』

凡例

- ・番号 資料番号は旧茨木市史編さん室で付与した番号を採用した。
- ・表題 原表題を尊重し、原表題の無いものは()で内容表題を補った。端裏書、奥書などのあるものは〈 〉で表記した。
- ・年代・西暦 文書に記載されている和暦を記し、西暦を補った。年代の無いものは、推定年代を()で記載した。
- ・干支・月・日 文書に記載されている干支・月・日を記した。
- ・作成 文書の作成者を入力し、2名以上の場合、他〇名と記した。
- ・受取 文書の受取者を入力し、2名以上の場合、他〇名と記した。
- ・形数 文書の形状・数量を記載した。

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
1	買受申米之事(下書)	天保5	1834	午		7	茨木村鍛屋町買上魚屋清兵衛印他1名	馬場村年寄新治郎殿	状1
2	連印ヲ以預申銀子之事	安政3	1856	辰		11	銀預り主馬場村格兵衛(印)他3名	目垣村市良兵衛殿	状1
3	預り申銀子之事(虫損・破損)	嘉永元	1848	申		4	馬場村銀預り主良助(印)他1名	鮎川村米屋甚右衛門殿	状1
4	奉拝借銀子之事(肥代手当銀入用に付)(虫損・反故)	天保6	1835	未		11	27 嶋下郡馬場村百姓代四郎兵衛他3名	地方御役所	状1
5	奉拝借銀子之事(肥シ代銀入用に付)	天保5	1834	午		12	朔 嶋下郡馬場村庄屋戸肥常治(印)	地方御役所	状1
6	人別村送り一札(其村方重助方へ同家に罷り越し申したく(に付)(下書・虫損)	(江戸)					何守殿領分何州何郡何村庄屋誰	古河御領分馬場村庄屋戸肥格兵衛殿	状1
7	乍恐以書付御届奉申上候(安威川筋より東之田畑追々早損毛のため淀川筋より水養に付)(控・虫損・奥書)	天保5	1834	午		7	18 馬場村戸肥常治他3名	地方御役所	状1
8	宗旨送手形之事(茨田郡大庭之庄三番村吉兵衛娘さき、馬場村増次郎方へ縁付に付)	嘉永7	1854	寅		2	河州茨田郡六番村教応寺(印)	摂州馬場村浄福寺	状1
9	手切一札之事(私弟巳之助、其村方後家百姓ふり入聲に遣しに付)(下書・端裏書)	天保9	1838	戌		2	稲葉丹後守殿領分摂州嶋下郡下新田村百姓兄平右衛門印他1名	古河御領分同郡馬場村御役人中	状1
10	乍恐以書付奉願上候(当村氏神社僧長蓮寺後住高野山靈仙院へ受法のため村役人付添いに付)(控・貼紙2ヶ所・虫損・端裏書)	文政3	1820	卯		7	18 馬場村庄屋願人戸肥角兵衛他3名	地方御役所	状1
11	借入金確証	明治31	1898			2	22 三島郡溝咋村大字馬場借用主土肥徳三郎(印)	同郡同郷同大字今西伊三郎殿	状1
12	奉拝借銀子之事(肥シ代銀入用に付)(下書)	天保5	1834	午		12	朔 嶋下郡馬場村庄屋戸肥常治	地方御役所	状1
13	(浄福寺親類并門徒総代各村書上)(虫損大)	(江戸)							状1
14	(差出・宛先書付)(本紙は79ヵ)	明治元	1868	辰		11			状1
15	(欠番)								
16	(包紙 丑年三月[]日[]奉行所ニおみて[]国馬場村長蓮寺本末境内宮田争論[]次口領分[])(破損甚大)	(江戸)		丑		3			包紙1
17	借入金確証	明治11	1878			2	26 第八大区三小区馬場村借用主土肥徳三郎他1名	第八大区二小区茨木邨建部喜平殿	状1
18	乍恐以書附御答奉申上候(当村浄福寺旦家宗判改めの節中村西法寺且那と書上の義御尋ねに付)(下書・虫損)	天保13	1842	寅		4	17 嶋下郡馬場村西本願寺下浄福寺他4名	地方御役所	状1
19	切支丹御改二付真言宗血脈伝授無紛段申上候一札之事(馬場村長蓮寺智乘病死の為後住聞届に付)(控・虫損・奥書・10と関連カ)	文政3	1820			2	摂州嶋下郡馬場村長蓮寺宥順(花押)	地方御役所	状1
20	乍恐口上(安威川筋十日市村字梅かへに新規水車拵えのため差止め願いに付)(控・虫損)	文化13	1816			12	7 庄村他8ヶ村右村々惣代橋之内村庄屋甚兵衛印他1名	土砂方御奉行様	状1
21	(長蓮寺無住の処後住聞届き届け成し下され相勤め申し候に付書付)(控)	弘化4	1847	未		5	摂州嶋下郡馬場村長蓮寺印代人心海房大空(花押)	地方御役所	状1
22	一札(榎木屋佐兵衛殿引米搗の水車目論見のため其村方より安威川筋の流水引き取らせ申すまじく候に付)(下書)	天保5	1834	午		9	馬場村庄屋市治郎他1名	茨木村御役人中	状1
23	覚(金子受取に付)(虫損)	(江戸)				10	4 柳藤(印文「二階堂柳藤」)	馬場村御両株様	状1
24	譲り渡し田地之事(銀500目請取に付)(虫損・反故)	天保3	1832	辰		7	譲り主馬場村順城(印)他2名	同村安右衛門殿	状1
25	借用申金子之事(端裏貼紙・下部破損)	明治6	1873	癸酉		12	10 嶋下郡第三区馬場村借り主戸肥格兵衛他2名	同郡第四区八町村今井権七郎殿	状1
26-1	乍恐御訴訟(浄福寺境内除地享保年中門徒争論之上大破に付再建願)(下書、26-1・2巻込)	(享保以降)					嶋下郡馬場村浄福寺庄屋角兵衛他2名	御奉行様	状1
26-2	御役所帳面書抜(延宝九辛酉年改帳の内浄福寺張紙)	享保5	1720			6	18		状1
27-1	預り申金子之事(献金ニ差詰り二付掛屋にて借用)(控、27-1・2巻込)	安政3	1856			辰	馬場村庄屋証人格兵衛	勘四郎殿	状1
27-2	覚(預り銀勘定に付)	(江戸)							状1
28	預り申銀子之事(虫損大・反故)	嘉永元	1848	申		12	馬場村銀預り主格兵衛他2名	粟生村治郎兵衛殿他1名	状1
29	記(馬場米訴金高の内に受取に付)(上部破損)	明治13	1880			12	20 中村道太良代理山田清兵衛(印)	土肥格兵衛殿他1名	状1
30	質物ニ差入申田地之事(後欠・虫損大)	弘化3	1846	午		11	馬場村田地質主格兵衛(印)他		状1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
31	預り申銀子之事(控・奥書)	安政2	1855	卯		11	河州讃良郡御領村銀預り主兵右衛門印他1名	中村太左衛門殿	状1
32	覚(御受書一通受取に付)	(江戸)		戌		9	6 沢良宜東村井上七三郎	馬場村戸肥常治様	状1
33	乍恐以書付奉願上候(肥シ代銀拝借願いに付)(控)	天保4	1833	巳		11	29 馬場村百姓代・年寄・庄屋	地方御役所	状1
34	未歳御物成皆済目録(嶋下郡馬場村)(控)	天保6	1835	未		11	馬場村百姓代四郎兵衛他3名	地方御役所	状1
35	寺証文之事(雛形・虫損大・端裏書)	天保9	1838	戌		正	何州何郡何村何宗何寺印	摂州嶋下郡馬場村御役人中	状1
36	覚(屋敷門長屋質入のため銀子受取に付)(虫損)	天保10	1839	亥		10	馬場村質主角兵衛(印)他1名	三番村源左衛門殿	状1
37	(長蓮寺は真言宗にて当住大空事、加行灌頂成就せしめ了に付請状)(控)	弘化4	1847	未		4	高野山靈山院印	土井大炊頭殿御役人中	状1
38	小作証文之事(破損・後欠・付箋1枚挟み込み)	(江戸)					馬場村[]		状1
39	乍恐以書附奉願上候(氏神境内にて悪事のため馬場領内へ灯燈等持参の差留願いに付)(下書・後欠カ)	(江戸)							状1
40	(條目)(前欠)	文政3	1820	辰		2	摂州嶋下郡馬場村長蓮寺宥順(印・花押)	地方御役所	状1
41	米預り確証	明治13	1880			12	17 大阪府下島下郡馬場郷土肥定右衛門(印)	千葉玉置殿	状1
42	質物差入申田地之事(反故・奥書)	文政10	1827	亥		11	馬場村質主伊右衛門(印)	佐兵衛殿相続講御連中	状1
43	(訴訟関係書付)(下書・帳外れカ)	(江戸)							状1
44	(安威川筋新規水車の義小松通船難渋に付差留願書)(下書・前欠)	明和6	1769	丑		正	土井大炊頭領分永井飛騨守領分入組摂州嶋下郡馬場村庄屋覚兵衛他5名		状1
45	人別送り一札(赤大路村吾市郎同家人弥四郎馬場村角兵衛方へ同家に付)	安政3	1856	辰		2	松下鎌太郎殿知行所摂州嶋上郡赤大路村当時庄屋年寄上首羽村江預り百姓惣代源左衛門(印)	馬場村庄屋・年寄中	状1
46	乍恐御訴訟(預ケ銀出入に付)(写)	安政4	1857			11	右村(田安御領知摂州嶋下郡中村)願人太左衛門	御奉行様	状1
47	(寺送り証文)(雛形・虫損甚大・破損)	天保11	1840	子		正	何宗[]何州何郡何村何寺	摂州嶋下郡中村西法寺殿	状1
48	覚(十郎左衛門巡村のため出役賄数五人達しに付)	(江戸)		未		3	岡田弥助(印)	馬場村庄屋	状1
49	覚(菜種受取に付)	(江戸)		申		7	摂州嶋下郡岸部東村油屋九兵衛(印)	馬場村庄屋戸肥常治様	状1
50	借入金証文之事(印紙付)	明治18	1885			7	13 嶋下郡馬場村借用主土肥定右衛門(印)	寺田利作殿	状1
51	受納申候金子之事(御宮鳥居御額修覆銀の内御寄進に付)	(江戸)		酉		4	20 溝杭郷四ヶ村氏子惣代	殿村平右衛門様	状1
52	乍恐以書付御届奉申上候(馬場村領除地氏神社末修復に付)(写・虫損甚大)	天保8	1837	酉		11	土井大炊頭領分氏神社僧長蓮寺他8名	御奉行様	状1
53	入札(馬場菜種一石宛代金書上)(控)	(江戸)				6	5 富嶋一丁目津国屋与兵衛	御村役人衆中	状1
54	差上申一札(氏神社僧長蓮寺本末の儀に付)(控・水損)	天保7	1836			3	嶋下郡馬場村年寄新治郎他2名	金子自進様他3名	状1
55	寺証文之事(下新田村百姓巳之助、馬場村後家ふり方へ入聲に付)(9と関連・端裏書)	天保9	1838	戌		2	摂州豊嶋郡福井村浄土真宗西法寺印	同州嶋下郡中村西方寺殿	状1
56	記(訴訟入費金三ツ割の二人分受取に付)	明治14	1881			1	17 千葉玉置(印)	戸肥格兵衛殿他1名	状1
57	乍恐口上(公儀代替りの役人巡見、通行筋分かり次第申し上げに付)(下書・虫損甚大)	天保8	1837	酉		10	嶋下郡拾ヶ村年寄庄屋連印	地方御役所	状1
58-0	(包紙「申年十月十日木綿作後見分御屋御賄手形二枚」)(天保7年10月の釣鐘堂屋根葺替願書の裏を使用、58-1・2の包紙)	(江戸)		申		10	10		包紙1
58-1	覚(木綿作見分出役賄いに付)	(江戸)		申		10	河岸務(印)他1名	馬場村庄屋	状1
58-2	覚(木綿作見分出役賄いに付)	(江戸)		申		10	坂本分作(印)他3名	馬場村庄屋	状1
59	(長蓮寺住持実堅退寺の処、隠居順証再住願いに付書付)(前欠・破損・天保8年5月附の順証再住願書あり)	(天保8)	1837	酉		5	18 角兵衛事戸肥常治政保(花押)	靈仙院様	状1
60	乍恐以書附御答奉申上候(宗判改の際、旦那寺に西方寺を書上の儀お尋ねに付)(下書・裏に浄福寺関係書状あり)	天保13	1842			4	16 嶋下郡馬場村浄福寺・庄屋角兵衛他3名	地方御役所	状1
61	(呉服物ほか書付一括)	(年未詳)							一括(3点)
62	ごしやくのたいしやくしよ(下書)	(年未詳)					肥後国鹿本郡味取村光照寺青木照良	むかいけんじ殿	綴1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
63	(東京へ手紙を出す際は頼尊へも出しなされに付書状)〈下書・虫損〉	(年未詳)							状1
64	(頼母子講五百円之仕法に付書付)〈破損甚大〉	(近代)							状1
65	奉御拝借銀子之事(去戌年安威川筋洪水堤切石砂取捨方入用銀拝借に付)〈端裏書・反故・虫損大〉	文政10	1827	亥		11	嶋下郡馬場村百姓代四郎兵衛他5名	地方御役所	状1
66	乍恐以書附届奉申上候(長蓮寺留主居大空高野山靈山院へ受法付添より帰村に付)〈下書・虫損甚大〉	弘化4	1847	未		5	9 嶋下郡馬場村庄屋戸肥格兵衛(印)	地方御役所	状1
67	一札之事(当村の牛通行御断り一件御勘弁に付)〈控〉	天保8	1837	酉		9	久条村牛持中間惣代三人他	馬場村御役人中様	状1
68	乍恐以書付御願奉申上候(馬場村牛頭天王社釣鐘堂屋根葺替に付)〈控・58-0裏文書と関連・虫損〉	天保7	1836	申		10	土井大炊頭領分撰州嶋下郡馬場村牛頭天王社僧古儀真言宗長蓮寺看坊実堅	馬場村御役人中様	状1
69	乍恐口上(貞享2年長蓮寺出入裁許の際本書并絵図面下々証書類無きに付写の控書差し上げに付)〈下書〉	天保11	1840	子		9	嶋下郡馬場村年寄中村岩之助他2名	御役所	状1
70	乍恐御訴訟(十日市村領内字梅かへの新規水車差し止め願いに付)〈下書・端裏書・20と関連・虫損〉	(文化13)	1816	子		12			状1
71	受取申金子之事(村方小弘銀の内御控えなされ拙者方へ受け取りに付)	天保5	1834	午		12	28 庄屋戸肥常治(印)	同村岩之助殿	状1
72	受取申金子之事(71と関連)	天保5	1834	午		12	29 馬場村庄屋戸肥常治(印)	同村岩之助殿	状1
73	(長蓮寺看住靈光儀、退寺のため隠居実賢再住職任命願いに付書付)〈虫損〉	安政2	1855	卯		5	高野山靈山院(印)	土井大炊頭御役人中	状1
74	乍恐御訴訟(新規水車差構のため差留願いに付)〈後欠・端裏書〉	(江戸カ)					土井大炊頭殿領分永井飛騨守殿領分入組撰州嶋下郡馬場村他1か村	永井伊賀守様御領分同州同郡茨木村庄屋茂兵衛他8名	断簡
75	約定覚(干鯛残銀受取)〈虫損大〉	(江戸)		壬子		9	13 仁和寺屋新助他1名	馬場村四郎兵衛殿	状1
76	一札之事(御領分内で当村の牛通行御断り一件勘弁に付)〈控・67と関連・水損〉	天保8	1837	酉		9	中穂積村宗助(印)他1名	馬場村御役人中	状1
77	乍恐口上(大坂西御番所・寺社役所より12ヶ月の間修復出来申さず候はば断るべき旨仰せ付けられに付)	弘化3	1846	午		5	10 嶋下郡馬場村庄屋戸肥格兵衛(印)	地方御役所	状1
78	手切一札之事(娘しゆん儀、其元子息に嫁入のため人別帳より除き候に付)〈下書〉	天保7	1836	申		2	何守殿知行所撰州嶋上郡何村庄屋親何右衛門他	古河御領分嶋下郡馬場村庄屋戸肥常治殿	状1
79	預り申銀子之事(後欠・後欠部分は14カ)	(年未詳)							状1
80	年賦借用証文之事(虫損)	明治10	1877			8	25 第八大区三小区馬場村借用主戸肥定右衛門(印)他1名	第八大区三小区沢良宜東村井上小右衛門殿	状1
81	預り申銀子之事(虫損・破損甚大)	弘化3	1846	午		3	撰州嶋下郡馬場村銀預り主格兵衛(印)他2名	星田村猪太郎殿	状1
82	引合書覚(貸蒲団取戻し出入下済のため奥書調印願いに付)〈虫損〉	(江戸)		未		5	富田村役人(印)	馬場村御役人中	状1
83	(薪代金カ書上)	(年未詳)							状1
84	乍恐奉差上御請書(馬場村浄福寺了恩、心得方宜しからず仏誓寺・永福寺へお預けに付)〈後欠〉	(年未詳)					撰州嶋下郡中組御世話方法中惣代随預房探道他		状1
85	申合一札之事(下屎惣代岸部村重蔵不分明の勘定のため向後年行司勤めに付)〈控・虫損甚大〉	文政4	1821	巳		10	真砂村他21ヶ村右村々庄屋・年寄・百姓代連印		状1
86	覚(竹代銀書付)	(江戸)					上穂積竹屋定右衛門		状1
87	村送り一札之事(当村娘其村方重蔵妻に参りたくに付)〈下書〉	(江戸)					何之守殿領(ママ)領分何州何郡何村庄屋何兵衛	古河御領分同郡(ママ)嶋下郡馬場村庄屋戸肥格兵衛	状1
88	預り申銀子之事	安政2	1855	卯		11	河州讚良郡御領村銀預り主兵右衛門他1名	中村太左衛門殿	状1
89	奉拝借銀子之事(肥シ代銀に付)	天保5	1834	午		12	嶋下郡馬場村百姓代四郎兵衛(印)他3名	地方御役所	状1
90	寺証文之事(撰州嶋上郡赤大路村庄屋娘しゆん、馬場村庄屋戸肥常治子息へ嫁入に付)〈下書〉	天保7	1836	申		2	何州何郡何村何宗何寺印	同州嶋下郡嶋村光善寺殿御役僧中	状1
91	越石米譲り証文之事	天保14	1843	卯		12	馬場村越石米譲り主作兵衛(印)他3名	中村治兵衛殿	状1
92	手切一札之事(馬場村伊右衛門他4名其村方治郎兵衛方へ引越に付)〈虫損〉	天保9	1838	戌		6	古河領撰州嶋下郡馬場村庄屋栄治郎(印)	織田丹波守様御領分同郡味舌上村御役人中	状1
93	乍恐口上(馬場村領字大垣戸手水道鍵のため和濟御届に付)〈下書・虫損〉	天保5	1834	午		9	15 嶋下郡馬場村年寄新治郎他3名	土砂方御奉行様	状1
94	乍恐以書附奉願上候(太中村常楽寺覚道を長蓮寺後住に仰せ付けられたくに付)〈下書・虫損〉	天保14	1843			14	馬場村年寄他4名	地方御役所	状1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数	
95	覚(宮之竹代銀書付)	(江戸)					戸伏政右衛門		状1	
96	(上ノ分及び中ノ分寄駄当り代銀書付)	(江戸)							状1	
97	年季奉公人請状之事(茨木村突抜町徳兵衛倅兵吉に付)〈写〉	天保4	1833			8	永井肥前守様御領分摂州嶋下郡茨木村突抜町親徳兵衛印他2名	馬場村常治殿	状1	
98	差入申引合書(干鯛売掛代銀滞出入に付)	天保6	1835	未		閏7	大坂新天満町今増屋市郎兵衛(印)	溝摺(ママ)馬場村御役人中	状1	
99	(金銭等書付)	(江戸)							状1	
100	(格兵衛払分上之宮代銀書付)〈虫損〉	(江戸)							状2	
101	(代銀書上)	(江戸)							状1	
102	覚(反畝・分米書付)〈破損〉	(江戸)							状1	
103	(包紙 油屋増兵衛他菜種入札)〈103・104の紐共〉	(天保8)	1837						包紙5	
104	(入札 菜種買受値段に付書付一括)	天保8	1837		6	9		(馬場村御村方様)	状13	
105	手控帳(嶋村会儀所諸勘定出入に付)〈裏表紙破損〉	明治7	1874	戌		8	土肥		横半1	
106	呉服染物通〈破損〉	明治18	1885		3	1	茨木菊本弥次郎	馬場村戸肥角兵衛	横半1	
107	見真大師御伝記唱歌〈虫損〉	明治31	1898		3	6	富山縣越中国中新川郡上條村大字石割著作者藤峯教慧		豎1	
108	校正正信偈訓読 領解文付	明治25	1892		1	9	編輯兼発行及印刷者京都市下京区花屋町永田長左衛門		折本1	
109	撰津国嶋下郡之内神社除地高其外取調帳〈控・水損・取扱注意〉	明治4	1871			9	古河縣管轄所撰津国嶋下郡馬場村溝咋神社神主三嶋泉		豎1	
110	法名(土肥カシ分)〈包紙入・包紙上書「法名 撰津馬場村土肥カシ」〉	明治20	1887		10	5	寺務釈光尊		状1	
111	報恩講日記〈写・表紙欠〉	明治38	1905		10	10			豎1	
112	病氣見舞	(明治)	1906		4	30	越乃僧如波	妙前信尼殿	豎1	
113	九拾貫目頼母子仕法帳〈控〉	弘化3	1846				小平尾與兵衛控		豎1	
114	附物取調簿(上表紙破損、裏表紙「馬場村九助」・115と関連)	明治11	1878		3	19	第八大区三小区馬場邸持主土肥徳三郎他1名	第八大区二小区茨木邸奥邸儀八殿	横1	
115	附物取調簿(114と関連)	明治11	1878		3	19	第八大区三小区馬場邸持主土肥徳三郎他1名	第八大区二小区茨木邸奥邸儀八殿	横1	
116	(馬場村氏神献灯提灯の儀引受不承知ならば目垣村二階堂村へ譲り候に付書状)	(江戸)				9	6	西岡太郎兵衛他1名	馬場村両株御役人中様	状1
117	(御頼み申し上げ候義御差し支えの由承知に付書状)	(江戸)			5	22	吉川源左衛門	土肥常次様他1名	状1	
118	(御光来の際御操合の一件、西河原村よりも御答承りたくに付書状)〈虫損〉	(江戸)			6	4	庄 寺田平左衛門	馬場中西殿助様他1名	状1	
119	(庄村より御懇合の一条、御意を申したく候間御役人入来願いに付書状)〈118と関連〉	(江戸)			6	11	西河原吉田勘右衛門	馬場村御役人様	状1	
120	(過急に御咄し申し上げたき儀出来仕り下拙宅まで両所様入来願いに付書状)	(江戸)			5	28	庄村寺田平左衛門	馬場村両株庄屋中様	状1	
121	(海老一籠恵投下され御礼等に付書状)	(江戸)			5	8	庄村寺田平左衛門	両株御役人中様	状1	
122	(馬場村長蓮寺退住一件、郷中会合にて沙汰の処水車幾太郎他より頼み筋あり会席したくに付書状)	(江戸)			2	9	乾重次郎	戸肥常治様他1名	状1	
123	未歳津出御定直段(口米・三步一・十分一書付)	(江戸)							状1	
124	(少しは思い直して下されたくに付書状)	(年未詳)							状1	
125	記(元利金差引、西垣内頼母子掛ヶ金書付)	(明治カ)							状1	
126	(酒代銀滞出入のため下済取り計らい願いに付書状)	(江戸)			7	26	乾重次郎	戸肥常治様他1名	状1	
127	覚(材木代銀・数量書付)〈水損〉	(江戸)		未		閏7	6	木兵衛他1名	戸肥常治様	状1
128	(役所より極難のもの御救いの儀触出のため村方夫食困米にて取り計らいに付書付)〈下書〉	(江戸)							状1	
129	記(大坂府堤防願の節車代ほか諸入費書付)	(明治)			7	15			状1	
130	覚(格兵衛分・村方分代金差引勘定)	(江戸)		巳	7	16	八百長	ばゞ格兵衛様	状1	
131	覚(醤油・油代銀書付)	(江戸)		午		12前	油屋幸次郎	ばゞむら戸肥角兵衛様	状1	
132	覚(白石株代ニツ割・蔵借り賃他差引勘定)〈虫損〉	(江戸)		午		12	24	与次兵衛	格兵衛様	状1
133	(鳥飼上ノ村買入人足・入用銀勘定書付)〈控・帳外れ〉	(江戸)							状1	
134	(来月早々二日より母様お越し下されたくに付書状)〈下書〉	(年未詳)							状1	
135	覚(七月分・八月分人足代銀)〈控・虫損〉	(江戸)		午		12前	今(カ) 升新	馬々御村方様	状1	

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
136	覚(酒代・高屋払他差引勘定)(虫損)	(江戸)		午		12前	村方	格兵衛様	状1
137	記(別紙催促の訴状到来伝達に付)(虫損)	(近代)				11	10 東区会議所(印)	馬場村戸肥格兵衛殿外 二式人	状1
138	御宮侯約定(村方一統相談に付)(控・虫損)	天保8	1837	酉		正 18			状1
139	預り申銀子之事(下書)	明治元	1868	辰		11	銀預り主格兵衛	秦村利右衛門殿	状1
140	覚(訴状へ裏印をもって島村へ預け置き願いに付)	天保6	1835	未		6	7 馬場村庄屋常治	嶋村御役人中様	状1
141	(母様留守中の儀御願い、帯・金巾他差上に付書状)(下書・134と関連)	(年未詳)							状1
142	覚(別府浜・三嶋江浜出の津出米不足分勘定)	(江戸)		卯		12	28		状1
143	覚(人名・俵数書付)	(江戸)		卯		極前	三しまへ過書	馬々村御役人中	状1
144	覚(御米出・拙者分俵数都合172俵鮎甚積書付)	(江戸)					米彦	戸肥格兵衛様	状1
145	覚(米2俵受取に付)	(江戸)		卯		11	27 (印「過書三嶋江濱 市郎右衛門」)	馬々村御役人中	状1
146	覚(菜種買受け代銀渡すため菜種唐崎濱へ早々御出し下され候に付)	天保8	1837	酉		6	16 河州讃良郡南野村内瀧村人力稼油交(ママ・紋)り油屋竹右衛門印	嶋下郡馬場村村役人中	状1
147	大坂土砂方様より御先触之写(摂州土砂留所見分に付)	文政9	1826	辰		9	11 高井山城守組与力川奉行土砂留方八田軍平印他1名	長柄中津川船渡し・小曾祢神崎川船渡し	状1
148	(天保五年七月二日より用水かき上りに付入用控他書付一括)(虫損)	(天保5)	1834			7	2		一括(2点)
149	(増銀等書付)(虫損)	(江戸)							状1
150	(中元の粗品進呈等に付書状)	(近代)							状1
151	(字松本堤切二付人足家役割書付)	文政9	1826	戌		11	7		状1
152	(何よりの品御送り下され御礼、金子入手御取り替えに付書状)	(江戸)				6	21		状1
153	対談之覚(当村浅右衛門・元助酒代滞銀差引勘定に付)	(江戸)							状1
154	(油値段高値のため引き下げ方の儀に付達書)(写・154~157紙縫一括)	(文政4)	1821			(2頃カ)			状1
155	御受申一札之事(大坂町奉行所よりの達に付)(下書)	文政4	1821	巳		2	11 百姓代・年寄・庄屋連印	地方御役所	状1
156	(大坂町奉行所よりの達に付請書)(下書)	(文政4)	1821			2	11 (百姓代・年寄・庄屋連印)	(地方御役所)	状1
157	(大坂町奉行所よりの達のため請書差し出しに付達書)(下書)	(文政4)	1821			2	11 (地方役所)		状1
158	記(點野村松井ためより請取書・同人勘定書請取に付)	(江戸)		亥		9	25 中西	戸肥氏	状1
159	(呉服物書付一括)	(江戸)							一括(3点)
160	(包紙「上 如南山寿」)(水引付・包紙裏書「上上おかしさま」)	(年未詳)					如南山寿		状1
161	(不動産後住の儀追々聞き合わせの上御世話申すに付書状)(包紙)	(江戸)				11	18 (高野山)靈山院兼花山院納所	戸肥常治様	状1
162-1	覚(門株木金物他代金・目方書上)(162-1~6包紙一括・包紙は51と関連)	(江戸)				4	23 高安	常治様	状1
162-2	覚(銀子差引勘定)	(江戸)		酉		5	7 吉田屋時蔵(印)	戸肥常治様	状1
162-3	(引札 銅道具類金物直しあつらへもの)	(江戸カ)					大坂てんまやくわん屋町吉田屋時蔵		状1
162-4	覚(門株木鞘寸法書付)(162-1と関連カ)	(年未詳)					旅宿本町二而大坂屋源蔵	溝杭馬場村戸肥常治	状1
162-5	(金物・銅延杉代銀他書付一括)	(江戸)					吉田屋時蔵	馬場村戸肥常治様	状1
162-6	(包紙「上」)	(年未詳)							状1
163	覚(金銀勘定)	(江戸)		戌		10	8		状1
164	覚(丸太代銀書付)	(江戸)		午		6	28 惣持寺茂兵衛	ばゝ村藤兵衛様	状1
165	覚(人足代銀書上)	(江戸)		午		7前	目垣源七	馬場村薬師様	状1
166	(あか板・戸釘代銀他書付)	(江戸)		午		7前	なべ屋次良	はゝ村薬師様	状1
167	覚(代銀書付)	(江戸)		午		3	22 鍋屋吉兵衛	馬場村薬師様	状1
168	覚(代銀書付)	(江戸)					竹屋治右衛門	新治郎様	状1
169	(御国絵図御改めのため取調の上、下書の通り差上なさるべきに付書状)	(江戸)				2	18 角川七吾郎	中西市次郎様	状1
170	(馬場村喜兵衛殿身体限り仰せ付けの上、付立出役の儀承引願いに付書状)	(江戸)				8	26 河内屋作兵衛店(源助)	馬場村庄屋戸肥格兵衛様	状1
171	記(元利金勘定)	(近代)				9	3 土肥定右衛門	藪内清三郎	状1
172	(御宮一件のため大坂旅宿払い等の金子御渡し願いに付書状)	(江戸)				7	11 乾半兵衛	戸肥常治様	状1
173	(病氣見舞等に付書状)	(近代)							状4
174	(代銀書上)	(江戸)		午		7	家根屋伝蔵	馬場御両株様	状1
175	乍恐以書付奉願上候(馬場村氏神社僧長蓮寺実堅退寺のため順證を後住願い	天保8	1837	酉		4	馬場村年寄・庄屋	地方御役所	状1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
176	(拝借の九ヶ村帳面返上、枚方船役所へ差出の願書に調印願いに付書状)	(江戸)		酉		10	2 ノハミヤ吉田半平	戸肥御主人様	状1
177	覚(杉・桧他材木本数代銀書付)	(江戸)		未	閏7	4	惣持寺茂兵衛	馬場村戸肥常治郎様	状1
178	覚(当申植付証文帳一冊・同業種作高届書一通請取に付)	(江戸)		申	5	16	乾重次郎	戸肥常治様	状1
179	記(訴訟けいし代金・諸入用他書付)	(近代)			12	14	土肥	藪内様	状1
180	覚(杉本数・代銀書付)(虫損大)	(江戸)					惣持寺茂兵衛		状1
181	(先般願上の事件の残銀計算なしのため明日下坂の上御願いに付書状)	(江戸)			12	13	福谷善三郎	戸肥格兵衛様	状1
182	覚(鯛・豆腐代銀他書上)(虫損)	(江戸)				10	泉屋三平	土肥氏様	状1
183	覚(銀子受取)	(江戸)				7	たゞや正輔	馬場村格兵衛様	状1
184	古(ママ)無僧出鉢打廻料割(控・紙縫付)	文政8	1825			12			横1
185	覚(預り金差引勘定)(後欠・186と関連)	(江戸)							状1
186	(馬場村市兵衛他4名借入金書付)	(江戸)							状1
187	覚(金子差引勘定)	(江戸)							状1
188	(縁談二付身上申書に付書状)(下書)	(年未詳)							状1
189	(摂州・播州戌年御定直段、摂・播州の口米・三分一・十分一の年貢代銀に付廻状)	(江戸)		戌		11	10		状1
190	記(西垣内頼母子金・藪内控)(控・破損)	(近代)		卯		8	16		状1
191	覚(御花請納に付)	(江戸)					勸進元錦山忠兵衛	馬ば村戸肥氏様	状1
192	(先月中仰出の一儀、村役人共より御答申し難きに付書状)(端裏書)	(江戸)				6	4		状1
193	覚(丸太代銀書付)	(江戸)		午		7	めた仙	はゞ村用	状1
194	(材木代銀書付)	(江戸)		午		7	竹治	馬場新次郎様	状1
195	覚(代銀書付)	(江戸)		午		6	28 馬場薬師堂御用(印「富瓦久」)		状1
196	覚(御蔵入用銀受取)	(江戸)					久右衛門(印「富瓦久」)	馬場御村方様	状1
197	(魚代銀他書付)	(江戸)		午		7	魚清	馬場村御株様	状1
198	(鉢着代銀他書付)	(江戸)		午		7	泉や三郎平	戸肥常治様	状1
199	覚(人別合数書付)	(江戸)		午		6	26 浅右衛門	御村方様	状1
200	(おの代銀他書付)	(江戸)		午		7	竹治	馬場御村方様	状1
201	覚(銅板代銀書付)	(江戸)		午		3	27 鍋屋吉兵衛	馬場村薬師様	状1
202	覚(戸釘代金書付)	(江戸)				3	30 鍋屋吉兵衛	ばゞ村薬師様	状1
203	覚(やくし様分材木代銀受取)	(江戸)		午		7	14 惣持寺茂兵衛	ばゞ村新治良様	状1
204	(作兵衛分他人数書付)(帳外れ・2点巻込一括)	(江戸)							状1
205-1	覚(去ル未年大川筋御国役掛り入銀請取)(205-1・2巻込一括)	(江戸)		酉		10	29 乾重次郎	戸肥常治殿	状1
205-2	覚(安威村へ伝達の国役掛り銀高書付)	(江戸)				10	29		状1
206	(名札「嶋下郡馬場村庄屋戸肥格兵衛」)(40枚内15枚は上書無記入・包紙一括・包紙上書「名札五枚」)	(江戸)							状1
207	入札(別府出しの米落札銀書付)(包紙一括)	(江戸)		申		6	5 大坂東九條木屋安治郎他1名	馬ゞ村御役人中	状1
208	渡し口(借用銀返済差引勘定)	(江戸)		酉		7			状1
209	(代銀受取)	(江戸)		寅		12	2 郷宿五平次	馬場村不動院様	状1
210	(魚他諸品代銀書付)(2点仮綴一括)	(江戸)							綴1
211	覚(みそ代銀書付)	(江戸)		午		7前	升物屋市郎兵衛	馬場立会御村用	状1
212	覚(京の旅宿・献上の扇子調所等書付)(破損)	(江戸)							状1
213	(借用覚・十助割書付)(帳外れ)	(江戸)							状1
214	口上(仕法社掛金持参に付)(破損)	(近代)					ばゞむら会社元	土肥角兵衛様	状1
215	口上(仕法社出席下されたくに付)	(近代)		子		8	3 馬場村会社元	土肥角兵衛様	状1
216	(小包のなかへは手紙お入れなき事に付書状)(下書)	(近代)							状1
217	取次覚(人別書付)	(江戸)							状1
218	覚(金銭等書付)	(江戸)					井戸仲間	御村方様	状1
219	覚(諸品代金書付)(水損・裏に「土肥八重」と記入あり)	(江戸)							状1
220	(米50俵受取に付書付)	(江戸)		酉		11	26 (印「過書三嶋江濱市良衛門」)	馬場御村方	状1
221	寄穀預り之覚書(寛政10年～文化3年)(汚損)	(江戸)							状1
222	(安威一件愚案一札送付并天満酒造一件のため入来願いに付書状)(破損)	(江戸)				4	16		状1
223	献立(口取・雑煮等書付)	(年未詳)							状1
224	覚(米代銀渡し候に付)	(江戸)		卯		2	18 甚右衛門	戸肥格兵衛様	状1
225	(あい病氣治療・買物覚)	(明治)							状1
226	(巡見のため御役所へ差上の書上帳に取米認め入れ下されたくに付書状)(追而書共)	(江戸)				10	15 寺井佐太郎	戸肥常治様	状1
227	(近況見舞に付書状)(水損)	(近代)							状1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
228	(訴状差し出し八直に寺社役所へ皆々相揃い罷り出で候のため期限案内に付書状)	(江戸)				5 26	半兵衛	石町瓦治二而戸肥常治様	状1
229	(金銭人名書付)	(江戸)							状1
230	(日記)帳外れ)	(江戸)							状1
231	一札(御一新のため神社の儀は僧侶にて勤め難く神主に成し下され承知下されに付)231・232紐一括)	(明治)							状1
232	一札(其村々氏神溝杭社神主に何と申す人差し入れ申し候に付)雛形)	(近代)					何村誰印		状1
233	(欠番)								
234	覚(検見として皆損畑方見分出役村順書付)写)	(江戸)		申		9	晦 平野郷陣や地方役所御印	西喜連村庄屋他5名	状1
235	(上木三貫目代銀書付)	(江戸)		午		8	12 竹屋政七	御村方様	状1
236	急村継(国絵図改めの御趣意のため取調の上飛驒守役場へ申し出るべく候に付)写)	(江戸)				2 15	永井飛驒守御絵図御用掛り役場元田喜兵衛御印他3名	撰州嶋下郡馬場村他19ヶ村村々庄屋年寄中	状1
237	(するめ等代銀書付)	(江戸)		午		7	柳藤	ばゝ村立会御村用	状1
238	(代金書付)	(江戸)				6 19	正桜(印「大坂天神橋南詰西桜井屋」)	覚兵衛様	状1
239	(代銀差引勘定)	(江戸)		午		7前	柳藤	はゝ村立会村用	状1
240	記(裁判関係諸入用費書付)	(近代)					土肥より	藪内様	状1
241	(庄屋跡役仰せ付け、村方諸役高割方覚書書付)後欠・虫損)	(明和2)	1765		4	19			状1
242	(不動院様へよろしく御伝え下され等に付書簡断簡)前欠)	(江戸)							断簡1
243	(実堅退寺願いに平野御役所へ罷り出でに付書状)	(江戸)				6 21	幾太郎	戸肥常次様	状1
244	覚(代銀書付)後欠)	(江戸)				6 29	米屋店	[]	状1
245	覚(本免等書付)	(江戸)							状1
246	(伊右衛門年貢銀借用仰せ聞かせ下され候へ共手宛ての積り居り候に付書状)	(江戸)		戌		4 10	中村氏岩之助	戸肥常治様	状1
247	覚(人別石数書付)	(江戸)				8 12	柳儀	御村方様	状1
248	覚(青銅受納に付)	(江戸)		未		9 18	戸伏村光照寺伊助	馬場村御門徒中御村方様	状1
249	(豆腐・田楽等代銀書付)前欠)	(江戸)							状1
250	(しゆんへ帯ぢ、ひとへ物下されに付書状)	(年未詳)							状1
251	覚(飲食・宿泊代金受取に付)	(江戸)				7 3	和や	上	状1
252	(撰津・河内国口米等銀納直段書付)	(江戸)							状1
253	覚(御花請納に付)	(江戸)					勤進元錦山忠兵衛	馬は村古川領御村方様	状1
254	覚(金受取に付)	(江戸)		卯		7 13	多田屋善兵衛(印)	馬場戸樋様	状1
255	覚(茨木魚清相続講銀勘定)	(江戸)		申		3			状1
256	覚(住吉郡等代銀、刀指・無刀仲間人数書付)破損)	(江戸)							状1
257	(このびろど裕は祖母様の普段にお召し下されたくに付書状)	(江戸)				2 21	すか		状1
258	(土砂方宿泊の献立書付)端裏書)	(江戸)				10 5			状1
259	反証(家購入契約解除に付)	明治31	1898			7 3	野上精一(印)	下村吾一郎殿	状1
260	(国役掛り御遣わし別紙請取、借用の絵図面旧記書類高槻より帰り次第返却に付書状)	(江戸)				10 29	乾重次郎	戸肥常治様	状1
261	口上(一件二付明日参会の処、差支のため延ばし下されたくに付)端裏書)	(江戸カ)				1 6	清兵衛	上	状1
262	覚(支払銀勘定に付)	(江戸)				4 5	七三郎・世話人	戸肥御氏様	状1
263	(家族の安否、御酒等送付に付書状)					12 18	西明	土肥様	状1
264	(袋「御宮釣鐘堂屋根之分修復願二而諸書物」)	天保7	1836	申		10 21		戸肥常治様	袋1
265	和上の御歌(南無阿弥陀仏の讃歌)	(近代)							状1
266	(袋「戊歳御直段書附巻通米平方江銀納勘定堤切二而家役割合人足留書」)	(江戸)							袋1
267	(軍隊生活近況報告に付書簡)	(近代)							状1
268	(欠番)								
269	(経文解説 第十八ノ文)	(近代)							状1
270	祖師聖人田植歌	(年未詳)							状1
271	(封筒 書留)上部破損)	(近代)				5 20	西明すが	府下三島郡溝咋村字馬場土肥(カ)徳三郎様	封筒1
272	覚(材木代受取に付)	(江戸カ)				閏7 3			状1
273	覚(金子受取に付)	(江戸カ)		西		6 17	沖平	御村方様	状1
274	(印鑑 日光宮支配多賀宮別当福寿院)	文政10	1827	亥			役人竹原氏(印)		状1
275	覚(懸け銀書付)	(江戸)							状1
276	(土肥家長女八重養女一件書類綴)	(明治20)	1887						綴1
277	(酒壺升御入用の節この印紙をもって差し上げに付書付)	(江戸)					茨木高橋筋葉屋善兵衛(印)		状1

島下郡馬場村庄屋文書目録

番号	表題	年代	西暦	干支	月	日	作成	受取	形数
278	(飲食代等に付書付)(紙綴付)	(江戸)							状1
279	(病氣見舞いの御礼に付書簡)	(近代)					すが	父上様	状1
280	借用申年賦証文書	明治3	1870			正	馬場村金借用主角兵衛 他1名	大坂齋藤町淀屋利兵衛 殿	状1
281	(答案用紙 理科)(水損)	(近代)					第三学年土肥フミ		状1
282	責任御願(取調の廉で抱留の中村向井常治郎、実父病身のため私へ責任仰付け願いに付)	(明治15)	1882				寺田		状2
283	告訴御取消再願書(被告人向井常治郎へ立竹盗伐の告訴に付)	(明治15)	1882						状1
284	借用申金子之事	明治10	1877	丑		2	28 第八大区三小区馬場村 借用主土肥定右衛門 (印)他1名	牧田利作殿	状1
285	(借用金証文書付 明治12年7月25日～同16年12月20日)(水損)	(明治)					馬場町金借用主土肥定 右衛門他1名等	中村牧田利作等	綴1
286	委任状(拙者病氣のため戸肥格兵衛・定右衛門・徳三郎事件の代理委任に付)	明治17	1884			1	嶋下郡戸伏村農牧田利 作(印)		状1
287	村帳面請取記(免割帳など旧南組村帳面請取、明治15年12月23日～同16年11月23日)	(明治)					馬場村戸長代理用掛り 中西作兵衛(印)	同村土肥格兵衛殿	綴1
288	記(古河藩支配所村方帳面請取)(上部破損大)	明治17	1884			1	16 馬場村戸長中邨治郎兵 衛(印)	土肥格兵衛殿	綴1
289	証(戸肥格兵衛より弥陀観音譲り請けのため御礼の冥加金目録に付)	明治21	1888			3	31 牧田利作(印)他1名	戸肥格兵衛殿他2名	綴1
290	約定之事(出金受取に付)	明治9	1876	子		2	26 第八大区三小区馬場村 百姓代中邨常太郎他2 名	同村中西作兵衛殿他2 名	状1
291	証(金子の持ち合わせなきのため帰宅次第手形引替に付)	明治10	1877			11	30 戸肥格兵衛(印・反故)	福谷善三郎殿	状1
292	(欠番)								
293	誌(元利金書付)(破損大)	明治20	1887			1	10 松井真二郎	土肥定右衛門殿	状1
294	(所持田畑取調書 中西市左衛門他3名に付)(破損大)	(近代)							状4
295	(短歌「さみしくと思ふ心の其中に大悲の親に逢ぞ嬉しき」)	(近代)							状1
296	電灯料金領収証(下部破損)	大正16(ママ)	1927					土肥徳三郎殿	状1
297	(小作よりの綿作御用捨に預りたく等に付書付)(表紙欠・297～306紐一括・付属文書1点)	(天保7)	1836						横1
298	(諸品代銀書付)(端裏書)	文政8	1825	酉		7前	泉屋三郎平	馬場庄屋角兵衛様	状1
299	乍恐口上(菜種売り払い例年通り取計い押売り等は一切仕らずに付)(下書)	(江戸)					嶋下郡馬場村		状1
300-1	覚(源二郎分懸り銀書付)(300-1・2巻込一括)	(江戸)							状1
300-2	(嶋下・住吉・西成郡高掛り銀軒割に付書付)	(江戸)							状1
301	乍恐口上(非人番の宗旨帳面書加え届けに付)(下書・302-1・2と関連)	文化7	1810	午		2	馬場村年寄文蔵他2名	地方御役所	状1
302-1	差入申一札(非人番当株人別に差し加えに付)(301・302-1と関連)	(文化7)	1810			2			状1
302-2	口上之覚(両株勤めの非人番其株人別に差し加えに付)(301・302-1と関連)	(文化7)	1810			2			状1
303	覚(材木書付)	(江戸)							状1
304	覚(菜種売り捌きの口達前より多分売捌き、最早所持仕り候者なくに付)(下書・305と関連)	天保8	1837			7	摂州嶋下郡馬場村庄屋 誰印	御用達河内屋作兵衛殿	状1
305	(奉行所より沙汰あり菜種・綿種・油草の売両種の売り方、用聞河内屋作兵衛より奉行所へ届けに付書付)(304と関連)	(天保8)	1837						状1
306	乍恐御訴訟(新規水車差構え願いに付)(裏に書込みあり)	(江戸)							状3
307	(書状断簡)	(江戸)					山城屋基平拜 魚清	戸肥覚兵衛様 馬場御村方様	断簡1
308	(断簡)(前欠・宛名部分のみ)	(年未詳)				4			断簡1
309	(貳朱・壹朱代銀書付)	(江戸)							状1
310	(断簡)	(年未詳)						藤吉殿	断簡1
311	(紐付付箋「十日市村并茨木村先年水車一件書付」)(断簡1点あり)	(江戸)							断簡1